

# ISHOF

## 国際水泳殿堂

INTERNATIONAL SWIMMING HALL OF FAME

### 国際水泳殿堂設立の経緯

アメリカ フロリダ州・フォートローダーデール市

提唱者 ハロルド・マーチン：裁判官が1933年に「水泳というスポーツ及び水泳の貢献者を永久に記念すべきだとの持論のもと、毎年の大学「フォーラム」で説き、「水泳殿堂」建設の機運を盛り上げ続けた。

フォートローダーデール市民はもとより、AAU（アマチュアユニオン）が水泳施設建設地として最適地と判断、水泳施設建設を希望する各都市の中からフォートローダーデール市を選出。

フォートローダーデール市はAAUの決定に対し、博物館建設に19.5万ドルプール建設費に57万ドル計上。

進行は早く、1965年にプールオープン、1968年博物館完成。

開催式典には国際水泳連盟をはじめ、世界の著名な水泳関係者が集い、3時間のスポーツ・テレビショウで全米、カナダ、ヨーロッパで放映、水泳関係図書館も併設、世界最大の規模を誇っている。

国際アマチュア水泳連盟、FINAの参加国86ヶ国の承認により国際水泳殿堂と認定された。免税措置を受けた寄附金により運営されている。

1965年～1980年、全米選手権大会、国際大会を開催、アメリカ水泳の著名なドン・ショランダー、マーク・スピッツ、ラウデイ・ゲインズ、ジョン・ネーパーはじめ世界の著名選手達が入堂している。

1978年 ジェラル・フォード大統領 訪問

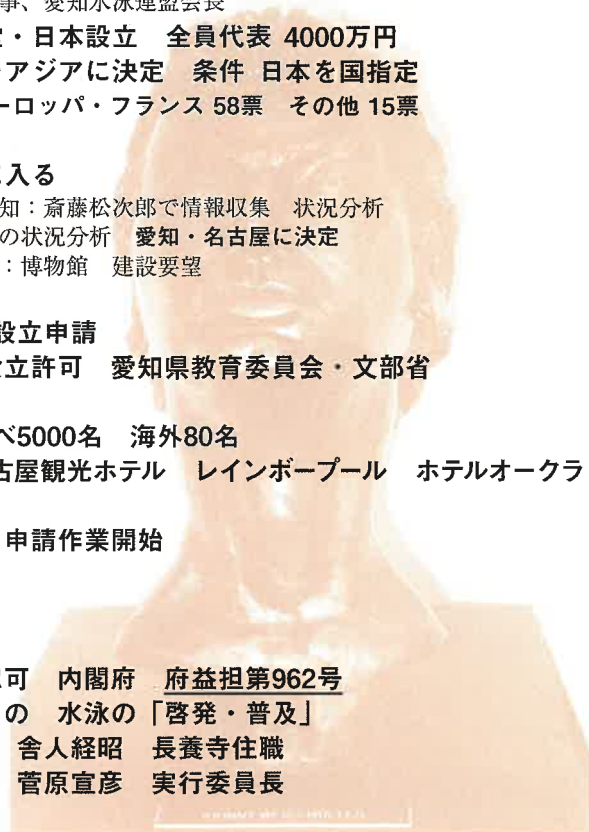
1983年 IOC オリンピック委員会開催

1988年 50Mプール増設 100万ドル大改修

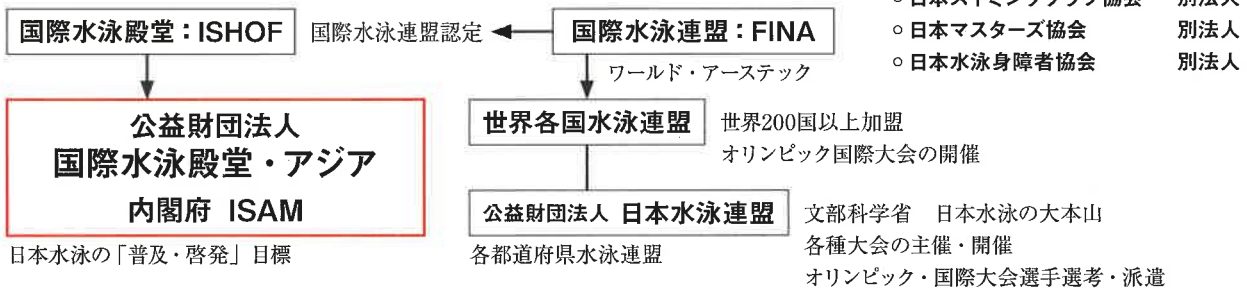


# 公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア誕生の経緯

- 1988年 菅原宜彦 国際水泳殿堂理事就任 同年常務理事就任
- 1989年 国際水泳殿堂 常務理事会はヨーロッパ、オーストラリア、アジアのいずれかにフランチャイズ計画を提案、理事会承認 各地域の水泳有力者にアプローチ開始  
 アジア展開招致活動 寺尾 豊・JA代表取締役：国際水泳殿堂選考委員  
 岡田 亘・毎日スポーツ代表取締役 斎藤松次郎・愛知水泳連盟理事長  
 国際水泳殿堂への紹介 菅原宜彦・国際水泳殿堂常務理事、愛知水泳連盟会長
- 1990年 国際水泳殿堂・アジア招致 仮称 国際水泳殿堂・日本設立 全員代表 4000万円  
 国際水泳殿堂評議員会は フランチャイズ地区をアジアに決定 条件 日本を国指定  
 アジア・日本 74票 ヨーロッパ・フランス 58票 その他 15票
- 仮称 国際水泳殿堂・日本は地域、都市の選考に入る  
 東京：岡田 亘 大阪：寺尾 豊 名古屋・愛知：斎藤松次郎で情報収集 状況分析  
 \* 水泳関係者 行政 財界 教育協力体制 各都市の状況分析 愛知・名古屋に決定  
 \* 愛知県＝財団設立申請 名古屋市＝本部 展示場：博物館 建設要望
- 1992年 6月1日 愛知県教育委員会 文部省に対し財団設立申請
- 1992年 8月19日 財団法人 愛知国際水泳殿堂・アジア設立許可 愛知県教育委員会・文部省  
 名古屋市に博物館建設要望
- 1997年 6月14・15日 国際水泳殿堂入堂式典 国内参加者延べ5000名 海外80名  
 入堂式典 名古屋キャッスルホテル 名古屋観光ホテル レインボープール ホテルオークラ  
 ※
- 2013年 9月1日 公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア 申請作業開始  
 ※
- 2013年 11月11日 内閣府宛申請  
 ※
- 2014年 3月20日 公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア認可 内閣府 府益担第962号  
 公益財団法人 国際水泳殿堂が目指すもの 水泳の「啓発・普及」
- 2022年 6月19日 財団設立運営運営功労者追悼会 読経 舎人経昭 長養寺住職  
 式辞 菅原宜彦 実行委員長
- 2023年 10月22日 創立10年記念会



## 世界水泳界・日本水泳界の組織図



## 公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア「シンポジウム」

講演者・顕彰受賞者 敬称略

	基調講演	特別講演	大賞・水泳特別賞	コーチ奨励賞	スイマー奨励賞
2014年度	宮下 充正	小沢 剛	宮下 充正	藤森 善弘	● 今井 月
2015年度	深代 千代	東島 新次	石井 宏	小池 隆治	○ 池江 璃花子
2016年度	清原 伸彦	菊浦 佑介	武藤 芳照 <small>・辞退</small>	加藤 剛志	○ 板橋 美波
2017年度	吉岡 伸輔	宮川 美哉	馬淵 かの子	村上 二三也	○ 長谷川 涼香
2018年度	菊浦 佑介	菅原 宣彦	清原 伸彦	竹村 知洋	○ 酒井 夏海
2019年度	菅原宣彦・東島新次	舎人 経昭	金子 正子	茅原 直人	○ 玉井 陸斗
2020年度	・・・	・・・	東島 新次	選考せず	選考せず
2021年度	・・・	菊浦 佑介	大崎 喜子	○ 馬淵 嵩英	○ 寺内 健
2022年度	・・・	井村 雅代	井村 雅代	下山 好充	成田 実生
2023年度	菅原 宣彦	菊浦 佑介	舎人 経昭	海老澤 雄介	松下 知之

●：リオオリンピック出場 ○：東京オリンピック出場

**国際水泳殿堂 巨匠 逝く 3月25日**  
**Dr.サムエル・フリーズ氏 元国際水泳殿堂 会長・CEO**

1989年、倒産の危機にあった国際水泳殿堂の再建に専務理事として就任。  
 1991年、会長兼CEOに就任、国際水泳殿堂再建に全力を傾注、国際水泳殿堂関係者、関係団体との再建への抜群の行動力、人間性で関係者を魅了、確実に資金調達を進めた。  
 1992年、国際水泳殿堂ランチ計画を立ち上げ、アジアを候補とした。同年、理事会はアジア進出を決議、国際水泳殿堂・アジア設立に尽力。  
 1997年、国際水泳殿堂入堂式典を50年の歴史の中ではじめて日本開催。博学、豊かな人間性で、国際水泳殿堂・アジアには最高のパートナーだった。  
 2000年、役員らの造反により会長、CEOを辞任、教育者として大学教授に復帰。教職にかかわりながらその優れた能力と人間性により多くの組織の要職を勤めた。  
 心からご冥福をお祈りします。

国際水泳殿堂・アジア役員一同



1997年国際水泳殿堂入堂式典・会長挨拶 名古屋キャッスルホテル



1992年国際水泳殿堂 仮称国際水泳殿堂・日本 仮調印  
 アメリカ・フロリダ、フォートローダーデール、マリオットハーバービーチホテル



1994年国際水泳殿堂・アジアオープンに來名  
 近藤産興を表敬訪問。「ん」太鼓を鳴らす、右 近藤社長



国際水泳殿堂・アジア フロント ・1996



国際水泳殿堂入堂式典プログラム ・1997



国際水泳殿堂特別功労賞受賞 ・1997



国際水泳殿堂特別賞受賞の舎人会長夫妻と  
 ブルース・ワイゴ会長夫妻

**～栄光を讃えて・特別表彰～**

2016 リオ・オリンピック  
 競泳女子 200m平泳ぎ  
 優勝 金藤理絵さん

舎人代表理事から表彰状、  
 武藤監事からトロフィー、  
 近藤特別会員から記念品、  
 神谷財団顧問弁護士から  
 花束が贈呈されました。



ラフイー・ムスターファ  
 FINA 会長



タイガー・ホーム  
 ISHOF 理事長



入堂式典 大沼・石井・岡村・梅島・舎人 ・1997



世界のトップスイマー葉室・古川・マークスピッツ



古川勝・葉室鐵夫両氏



マット・ピオンディ